

ほうおんこう

# 報恩講 初心者参拝ガイド



初めて？久しぶり？

## お寺のお参りは、報恩講がおすすめ！

お寺が一年で最も華やぐ行事、それが報恩講です。

本堂には五色の幕と、毛氈(もうせん)という赤いカーペット。お寺のいたるところに季節の花々が飾られます。昔の人は着飾ってお参りするのが楽しみで、「ほおんこさん」などと親しみを込めて呼んでいました。

お寺はお葬式、というイメージが強いかもしれませんが、この報恩講こそが、お寺のもう一つの姿です。「初めての参り」は、報恩講がおすすめです！

## 参拝モデルコース



AM 9:00 スタート！



今日は報恩講。

お寺でゆったりできれば良いな、と軽い気持ちで、初めての参拝。少し肌寒いので暖かい服装で。服装は、平服で良いんだよね。



お楽しみのお参りなので、喪服でなく平服で。中には、着物を着て楽しめる方も♪

AM 9:05 本堂へ



まずは本堂へ。仏さまにお参りして、ちょっと見学。椅子がたくさん置いてある。正座しなくていいんだ。あ、子どもたちの絵や習字が貼ってあるな。

check!

絵と書を募集中

本堂に掲示する、絵と書を中学生以下のお子さんから募集中。詳しくはチラシ・HPを。

AM 9:15 くら 庫裏の受付へ



本堂から渡り廊下を渡ると、庫裏。ここは食事をしたり、客間があったり、厨房があったりするマルチな場所。

御布施がある場合は、庫裏にある受付に持って行こう。色々な方が役割を担ってくださってる様子が分かる。



報恩講の「講」とは「持ち寄る」という事。参拝の気持ちや自分の食事代としてお布施を持って行く人も多い。お気持ちなので、もちろん無くても大丈夫。金額も自由で、3千円～5千円ぐらいが一般的。

ウラへ続く

AM 9:30 法要開始



いよいよメイン。法要のはじまり。  
赤い口ウソク、大きな仏華やお供え物、お坊さんの色とりどりの着物。どれも珍しい！  
お経の本が配られて、一緒にお参りできるんだ。  
法要は、みんなが主演なんだね。



AM 10:00 法話



休憩をはさんだあとは、仏教のお話を聞く時間。って、ご講師の冗談にみんな笑ってる。カタイ話じゃないんだ。リラックスして聞けばいいんだね。  
2022年は若手のお坊さんが講師。聞きやすくてパワフルなお話なんだって！

check!

法話は橘行信師

2022年の法話は、橘行信先生です。若院と同じ年の先生。楽しく聞きやすいお話です。お楽しみに！

AM 11:30 <sup>とき</sup>お斎(昼食)



自分にとってはこれもメイン！お昼ご飯。仏教の食事のことを「お斎(とき)」というらしい。  
今は感染症対策でお弁当容器での提供だけど、中身はすべて手作り。どれも懐かしい味だ！

POINT

2022年は、お布施の受付時に「お斎券」をお渡します。(ご用意する数量を予め確認するためです)  
受付にてお連れ様の分もお斎券をお受け取りの上、引き換えをお願いいたします。

AM 12:00 お買い物



お腹いっぱいになったら…本堂でマツタリ。それもお寺の楽しみ方のひとつだね。  
小さな本屋さんがある。ちょっと立ち読みしてみよう。  
コーヒーのサービスや、お念珠の修理がある年もあるらしい。

check!

お寺の本箱

若院と若坊守が選んだオススメの本を紹介する「お寺の本箱」。ご紹介した本を報恩講で販売します。立ち読みだけでも大歓迎！お気軽に手に取ってみてください。

AM 12:30 まだまだ続く？



たった半日だけど、楽しかったー。いいお話が聞けて、お腹もいっぱいになったよ。  
あれ、なんかまた人が増えてきた…。午後はもっと盛大な法要があるんだって。せっかくだから、もう少しだけゆっくりしていこうかな♪

このガイドは、不定期で発行しています。(次回発行未定) また、ご紹介したのは、あくまで一例です。お寺の楽しみ方を決めるのは、あなた自身であり、仏教の価値を自分のものにするのも、あなた自身です。僧侶はそのお手伝いをさせていただく事しかできません。ぜひ、ご自分の意志で一步踏み出して、伝統仏教のお話を聞きにいらしてください。新興宗教などと違い、一度聴いただけでは、深く納得できたり、感動できたり、何かが解決したりはしません。気長に、じっくりと理解する必要があるのもまた、仏教の側面です。初めての方には、戸惑いがあるかもしれませんが、しかし、善超寺はいつでもあなたの一步を歓迎します。

